

	一般的名称	報告の概要
422	塩酸ミトキサントロン	ホルモン不応性前立腺癌患者63例を対象としたドセタキセル/ミトキサントロン併用療法のプロスペクティブ多施設Phase II 試験において、1例がリステリア性髄膜炎、2例が心筋梗塞により死亡した。
423	エンチフルゾン	リウマチ性関節炎の患者に糖質コルチコイド製剤と疾患修飾性抗リウマチ剤 (DMARDs) を併用すると、感染症にかかるリスクが高くなることが示唆された。
424	プレドニゾン	顔面に血管腫を患う幼児20人について経口ステロイド療法群と静中ステロイドパルス療法群に分けて治療を行ったところ、両群から1名ずつ呼吸窮迫が生じ、経口群の患者1名は併発性でない水痘を発症した。
425	センナ・センナ実	芍薬甘草湯とセンナ製剤を併用した30人中6人で低カリウム血症が発症した。
426	ランソプラゾール	開心手術後にランソプラゾールとワルファリンを併用した患者において、INR上昇が見られ、術後の出血性合併症のリスクとなることが示唆された。
427	インフリキシマブ (遺伝子組換え)	インフリキシマブを投与された回腸囊や吻合を伴う結腸切除術を実施した潰瘍性大腸炎患者35例と手術日等をマッチさせた対照群35例を対象としたケースコントロール研究において、インフリキシマブ群で6例に副作用が発現し、1例は嚢にリンパ腫が認められた。
428	テモゾロミド	FDAに1999年8月11日から2006年11月3日に報告されたテモゾロミド投与患者における再生不良性貧血の報告18件を分析したところ、テモゾロミドの関与の可能性を否定することができなかった。
429	塩酸ミトキサントロン	急性リンパ性白血病およびリンパ芽球性リンパ腫患者143例を対象とした化学療法と幹細胞移植のPhase II 試験において、寛解導入療法時に14例、強化療法中に3例が感染、頭蓋内イベント、出血により死亡した。
430	ニコチン含有一般用医薬品	ヌードマウスにヒト結腸癌細胞を移植後ニコチンを経口投与したところ、腫瘍の大きさ及び単位面積あたりの血管数が、ニコチンの用量に応じて増大、増加した。
431	塩酸バンコマイシン	心内膜炎患者のVancomycin-intermediate Staphylococcus aureus (VISA) 菌株とdaptomycinに関する研究において、バンコマイシンの低感受性株 (MIC8 μ g/mL) が報告された。
432	メシル酸ペルゴリド	ラットにおいて、in vivoでペルゴリドを長期投与したところ、心臓弁膜症が見られた。
433	メタヨードベンジルグアニジン (131I)	進行性、難治性あるいは再発性の神経芽腫患者164例を対象とした第2相試験において、2次性悪性腫瘍が5例に発生した。また、カリニ肺炎、毛細血管漏出症候群、MDSあるいはAMLにより6例が死亡した。
434	カルボプラチン	カルボプラチンを複数回投与された女性126例を対象としたレトロスペクティブ研究において、プラチナフリーインターバルが長いほど過敏症の発現率が上昇することが示唆された。
435	ジクロフェナクナトリウム	ロジスティック回帰分析により、スティーブンジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症の発症を高める医薬品としてカルバマゼピンとアセトアミノフェン、ジクロフェナクが示唆された。
436	ホリナートカルシウム	局所進行食道胃癌患者119例を対象としたPET診断で術前科学療法の方向性を決めるPhase II 試験において、卒中発作、突発性心疾患で2例が死亡した。
437	ホリナートカルシウム	転移または再発食道扁平上皮癌患者41例を対象とした週2回投与のパクリタキセル/シスプラチンとフルオロウラシル/ロイコボリンを併用するレジメンを検討するPhase II 試験において、侵襲性真菌感染症により1例が死亡した。